

●復活節後第三主日

泉のほとり

今日の詩篇「第一一五編」

わたしたちの神は天にいまし

御旨のままにすべてを行われる。



朝の食事をしなさい

「わたしのために命を捨てる」と言うのか、あなたは今晚、鶏が鳴くまで三度、わたしを知らないと言う」と言われたベテロは「たとえ死ぬことがあつてもそのようなことはありませぬ」と断言しました。しかしイエスキリストの予告通り、彼は三度「知らない」と言うのです。するとすぐ、鶏が鳴き、彼は激しく泣きました。

その後、ベテロを始めとする七人の弟子たちはガリラヤに帰って来ました。ベテロが「私は漁に行く」というと、他の弟子たちも一緒に湖へ出て行つたのです。しかし、その夜は何もとれませんでした。夜が明けたころ、岸から「子たちよ、何か食べる物があるか。網を右のほうに打ちなさい」という声が聞こえてきたので、その通りに網を舟の右に打つてみると、大きな魚で網がいっぱいになりました。その時、弟子のヨハネが「主だ」と言うと、ベテロはすぐに上着をまとつて、湖に飛び込んだのです。網いっぱい魚には目もくれず、ほかの人たちが網を引き上げている間に、ベテロは先にイエスキリストのところへ向かいました。

後からほかの弟子たちが舟から岸へ戻ると、そこにはすでに火が起こされていました。そしてその上には魚がのせてあり、パンも用意されてあつたのです。イエスキリストが弟子たちのために朝の食事を用意してくださつたのでした。そこでイエスキリストが「今とつた魚も何匹か持ってきてなさい」と言うと、すぐに立ち上がり船に乗り込んだのは、またしてもベテロでした。

「さあ、来て、朝の食事をしなさい」

三度「知らない」と言つたベテロは何も話さず小さくなつて食事の席にいながら、キリストの言葉に素早く動いています。もはやここには、「すべての人があなたを見捨てても私はそのようなことをしません。あなたのために命を捨てます」と言つていたベテロの姿はありません。その古いベテロは死んで、いないのです。自分を固く信頼して語つた立派な言葉も、愛の誓いも、覚悟も、決心も、まるで「風に吹き飛ばされる初穀」のように消えて、もうないのです。

立派な誓い、キリストへの熱い愛の告白はありません。その代わりに「主だ」という言葉に、すぐに湖に飛び込んでいくベテロの姿があるのです。「今とつた魚も何匹かもつてきなさい」という言葉に素早く立ち上がつて船に乗り込んで魚をとつてくるベテロの姿があるのです。

キリストを裏切つたベテロです。死んでしまいたいほど恥ずかしい、惨めな自分を知りながらも、キリストの前に来ているのです。高ぶりも、プライドも、何もかも捨て去り、自分に満ちていたベテロはもういないのです。それはもうかつての、古いベテロなので

す。

「さあ、来て、朝の食事をしなさい」
今まで何度イエスキリストと一緒に食事をしたことでしょうか。数えられないほどです。しかし、今日の食事は今までとは全く違うものです。取るに足りない者にも与えられる食事です。しかもキリスト自らベテロのために用意してくださつた食事です。古いベテロが再び生きることがないようにと、ベテロを更へりくだらせる食事ではなかつたかと思ふものです。

(ヨハネ二・一〜一四)

祈り

○今すでに、わたし共が声をひとつにし、心を合わせて信仰を言い表すことを許し、言葉も調べもひとつにして讃美の歌を取うことを許し、また讃美する信仰を与えてくださいます主イエス・キリストの父なる御神、この礼拝の賜物を心から感謝いたします。この礼拝がすでにあなたからの賜物であります。わたし共の心にある疑いまで押しのけるようにして、あなたはわたし共に讃美と祈りの心を与えてくださいます。あなたに向かつて喜びの叫びを上げることがあなたが許してください、喜んでくださり、わたし共の心を解放してください。心からお礼を申し上げます。

あなたが今ここで、讃美の中に生きるいのちを与えてくださいます。多くの人々がひたすら飢え渴きつつ求めた、生けるあなたと共にある喜びを、あなたの言葉を聞く喜びを、その御霊が注がれる喜びを共に味わうことができますように。

あなたの賜物の大きさに覆われるようにして立つとき、わたし共の日々の歩みの中に現れてきた自分の弱さをみ前に恥じ、申し訳なく思うものであります。朝に夕に祈ること少なく、人の心を建て上げる言葉を語るのが貧しく、多くの人々の求めるわざに応えることができま

せんでした。いい加減に人をあしらひ、自分の生活さえ顧みないに生きてきたことを今、み前に恥じるものであります。自分の命の重さをあなたから受け取り直す思いをもって礼拝を献げることができませんように。そのことがわたし共の慰めとなり、ここに悩みを抱えて来ている者の力となり、これからの歩みを支えるものとなりますように。

み言葉を聞かせてください。祈り続ける心を与えてください。全世界の教会に力を馳らせてください。教会の中にある争いの心をあなたが鎮めてください。世界の中でもなお、憎み嫉む思いを呼び起こすさまざまな企てからわたし共が自由になることができますように。特に、力もち、世界の歩みに影響力をもっている人を、御心に適うものとして導いてください。

食卓を整えてくださいました御神、ぬかずにいて真の悔い改めをすることができましように。へりくだる喜びを、そこで主に触れる豊かさを味わうことができますように。人が生きるのは絶望によるのではなく、望みによって生きるものであることをわたし共がよくわきまえ、証しし、また多くの人々のその力が伝わりましように。望みに溢れるひとときとしてこの礼拝を献げさせてください。

主イエス・キリストの御名によつて、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤富昭 「み前にそそぐ祈り」 より)

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサーブと、園舎一階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで、讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○昼食後、久しぶりにハイデルベルク信仰問答を学ぶ会をします。今回は、問四五です。主イエスの復活によつて与えられている恩みを問う箇所です。どうぞご参加ください。一緒に信仰を学びましょう

○明日八日から、一日まで、説教熟東京セミナーが小金井市の修道院で行われ、三中牧師が参加されます。

○一三日(上)正午から、平塚市にある湘南基督教墓苑にて、墓苑礼拝を行います。

○七月三〇日に受流・転入会をご希望の方は、今日中に入信記を牧師宛へ提出ください。

○紫園香音楽伝道師は、一三日(土)、九時から日向キリスト教会でチャペルコンサート。
一四日(日)一〇時一五分から宮崎北里キリスト教会で音楽伝道礼拝の奉仕をします。どうぞお祈りください。

ラバウルだより

就労許可ビザ申請

4月19日に再び一時帰国しました。3月19日現地に再赴任しましたから僅か一ヶ月で帰って来たので、不思議に思っておられる教会の方がおられるのではないかと勝手に想像しています。今回の一時帰国は表記に書いた通りですが、パプアニューギニア（以下PNG）で活動するためにPNGビザが必要という事柄に直面し、自分がPNGに於いては外国人であることを再認識させられています。前回2月に帰ってきたとき、実はビザが6週間前に失効してしまっていたため、空港で入管係員に呼び出され幾つか質問をされました。罰金の請求を覚悟していたのですが、罰金無しで日本への帰国が許され感謝でした。



①パスポート②航空チケット③ビザです。このうちのどれかひとつでも無ければ海外に出ることはできません。①日本のパスポートは日本の国民であり申請経費を負担すれば誰でも持つことができます。②航空券は自分でしっかりと調べて稼

げば誰でも買うことができます。③これはPNG政府が審査をして発給してくれるもので、日本国政府はこの点無力です。

この3ヶはこの世で生きることを許された人が天の国に入る、その手順にとっても似ていると思います。①「天国に入るーパスポートは教会で洗礼を受け、聖霊のしるし（主イエス様のものであるしるし）」を身に受けているかどうか問われます。②チケット（航空便、船便とも）は怠惰な生活でなく、神様が与えてくださったこの世での時間をしっかりと管理して使い、神様のご栄光を顕した者に与えられるものです。③ビザは神様の国がイエス様を通して出して下さるもの。イエス様が「私はエハラを知っているから、天国のビザを出してあげなさい」と働き人に言えば、私は天国のビザを受け取ることが出来ます。イエス様以外誰もこの役職に付いているものは天にも地にもおられません。苦しみと誘惑の多いこの世の旅ですが、それぞれに与えられたレースを走り抜きましょう！

(荳原記)

聖書の会へどうぞ

5月10日（水）

●朝の聖書の会（10時）

「金もうけができなくて」

使徒16章16〜25節

黄允湜副牧師

●聖書の夕べ（19時）

「主イエスの死と復活」

ルカ18章31〜34節

古村和雄牧師

ミニコンサート

5月25日（木）12時30分

ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲

「ト長調 K423」他

ヴァイオリン 山本美樹子

次週礼拝

●第1礼拝（午前9時30分）

讃美歌 みめぐみあふれる

やさしい目が

説教 「互いに愛し合うならば」

聖書 ヨハネ13章31〜35節

説教者 黄允湜副牧師

●第2礼拝（午前11時10分）

讃美歌 148番 338番

詩編 第115篇

説教 「心からの捧げ物を」

聖書 コリント9章1〜5節

説教者 古村和雄牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 みめぐみあふれる

やさしい目が

説教 「羊は羊飼いを知っている」

聖書 ヨハネ10章22～30節 (新約P187)

司式 森 洋之兄

説教者 聖餐司式 吉村 和雄 牧師

前奏曲「メヌエット」G.F.ヘンデル

○ 讃美歌 21 127番(1.2)

1. み恵みあふれる 主をほめたたえよ
み業を忘れず 賛美をささげよ
主に求める時 主は答えられる 慰めをもって
2. 求める人には 主は耳傾け
畏れる人には み守り与える
主を仰ぐ人は 苦難の中にも喜びを歌う
3. 味わい見つめよ、 主の深い恵み
とこしえの代まで 変わらぬ憐れみ
みもとに身を寄せ 畏れる人には
欠けるものはない

アーメン

○ ピアノ弾き語りによる讃美

「Deep River(深い川)」黒人霊歌

○ やさしい目が

1. やさしい目が きよらかなめが
きょうもわたしを みていてくださる
「まっすぐにあるきなさい」とみていてくださる
2. おおきなてが あたかいたてが
きょうもわたしを ささえてくださる
「はなれずにあるきなさい」とささえてくださる
3. かぎりのない ひろいところが
きょうもわたしをまもってくださる
「やすらかにあるきなさい」とまもってくださる

聖餐曲「アダージョ」G.ビゼー

後奏曲「フーガ変ホ長調」W.A.モーツァルト

第二礼拝 (午前11時30分)

讃美歌 147番 238番

詩編 第115篇 (旧約P955)

説教 「善行は隠されたところで」

聖書 マタイ6章1～4節 (新約P9)

司式 森 洋之兄 聖餐司式 吉村 和雄 牧師

説教者 黄 允湜 副牧師

前奏曲「きよけき心を」S.カール=エラート

○ 讃美歌 147番

○ ピアノ弾き語りによる讃美

「Deep River(深い川)」黒人霊歌

○ 聖歌隊による讃美

「主は生きておられる」 編 藤本敬三

主イエスと呼びまつる 御神のひとり子

空しい墓こそが 救いのみ業証しする

たしかに生きておられる

恐れは消え去り

御方 与えたもうよみがえりの主 あおぐ時

いつの日か 河を渡り

最後の戦いに勝利を得させたもう

今も主生きておられるから

主が生きておられるから

明日に目を向け のぞみに満たされ

我らも生きる 主と共に

ハレルヤ ハレルヤ

○ 讃美歌 238番

聖餐曲「死の鎖を」G.バハ

後奏曲「フーガ変ホ長調」W.A.モーツァルト

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。